

令和6年6月21日

市政記者 各位

「令和6年度福岡市主要施策概要」について

この度、令和6年度に福岡市が取り組む主要な施策・事業等を掲載したパンフレットを作成しましたので、お知らせいたします。

記

1 配布・閲覧時期

令和6年6月21日から

2 配布・閲覧場所

市役所1階情報プラザ、各区（各出張所）情報コーナー

※福岡市ホームページにも掲載します。

URL：<https://www.city.fukuoka.lg.jp/soki/kikaku/shisei/sesakugaiyou.html>

【問い合わせ先】

〒810-8620

福岡市中央区天神1丁目8番1号

福岡市総務企画局企画調整部

担当：平城、池田

TEL：092-711-4086 FAX：092-733-5582

E-mail：kikaku.GAPB@city.fukuoka.lg.jp

PROJECT OF FUKUOKA

令和6年度
福岡市 主要施策概要



■令和6年度の施策推進にあたって

福岡市では、多くの市民の皆様とともに策定した「福岡市総合計画」において、「生活の質の向上」と「都市の成長」の好循環を創り出すことを都市経営の基本戦略として掲げ、「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」をめざして、まちづくりを進めています。

「天神ビッグバン」や「博多コネクティッド」により、耐震性の高い先進的なビルへの建替えが進むこの機を逃さず、高付加価値なビジネスや魅力的な都市機能を集積させるなど、災害や社会の変化にも強いまちづくりを進めてまいります。

また、少子高齢化や価値観の多様化が進む中で、次代を担う子どもから高齢者まで、誰もが安心して自分らしく生活できる環境づくりを推進するなど、やさしさが溢れるまちづくりにしっかりと取り組んでまいります。

令和6年度においては、

- ①次代を担う子ども、グローバル人材の育成
- ②見守り、支え合う、共創の地域づくり
- ③都市活力を生み出す観光・MICE、都心部機能強化の推進
- ④新しい価値の創造にチャレンジするスタートアップ都市づくり

という、総合計画に沿った4つの重点分野に力を入れてまいります。

● FUKUOKA NEXT



「FUKUOKA NEXT」は、この元気で住みやすいまちをさらに発展させ、将来に引き継いでいくために、福岡市を次のステージへと飛躍させる、様々なチャレンジの総称です。この取り組みを果敢に進めることで、「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」の実現を目指します。

●福岡市の SDGs の取り組みについて



SDGs とは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略で、「誰一人取り残さない持続可能な社会」を実現するために、2015 年の国連サミットで採択された、2030 年を期限とする 17 の国際目標です。

福岡市では、多くの市民の皆様とともに策定した「福岡市総合計画」に基づき、経済的な成長と、心豊かな暮らしのバランスが取れた、持続可能なまちづくりを進めることにより、SDGs の達成に取り組んでいます。

1 次代を担う子ども、グローバル人材の育成



多様な保育需要への対応や児童虐待防止対策など、すべての子どもが心身ともに健やかに成長できるとともに、誰もが安心して子どもを生み育てられる環境づくりを進めます。また、外国語によるコミュニケーション能力を育成するなど、国際感覚あふれ、世界で活躍する人材の育成を推進します。

安心して生み育てられる環境づくり

「福岡市型」こども誰でも通園制度

保育園等に通っていない生後6か月から2歳までの子どもを保護者の就労要件を問わずに定期的に保育所等へ預けられる「こども誰でも通園制度」について、国の基準に独自の上乗せをして、最大月40時間まで預けられる「福岡市型」のモデル事業を実施します。

予算 4億8,511万円

第2子以降の保育料の無償化

保育所等に通う第2子以降の保育料を無償化します。令和6年4月からは、3歳に達する年度の幼稚園の預け通園にも対象を拡大します。

予算 24億1,382万円

保育士の確保

正規保育士への奨学金返済支援や家賃助成のほか、ブランクのある保育士が現場復帰を図れるよう、保育所等に保育補助者の雇用費を助成するなど、様々な施策で保育士の確保を支援します。

予算 6億1,159万円

ベビーシッター派遣費用の助成対象者を拡大

生後約2か月経過後から4か月になるまでのベビーシッター派遣費用の助成の対象者を拡大し、就労等の要件に該当する保護者だけでなく、要件に該当しない方も対象とします。

予算 539万円

地域子育て相談窓口の設置

子育て世帯に身近な相談窓口を設置し、気軽に相談できる環境づくりや関係機関との連携による支援を推進します。

予算 1,876万円

学校・保育所等の給食費物価高騰分を支援

保護者の負担を増やすことなく、給食の質の維持を図るため、給食食材の価格高騰相当額を支援します。

予算 15億7,784万円

おむつと安心定期便

子育て家庭の孤立化を防ぎ、安心して子育てができる環境づくりをすすめるため、0～2歳の子育て家庭を見守りながら定期的におむつ等をお届けします。

福岡市 おむつと
安心定期便

予算 11億7,436万円

家庭での養育にサポートが必要な子どもの支援

家庭での養育にサポートが必要な子どものために、生活・学習習慣の形成支援、家庭の相談支援等に関わっていく常設の居場所を開設します。

予算 5,298万円

産前・産後ヘルパー派遣事業の拡充

産前・産後ヘルパー派遣事業について、多胎児（双子、三つ子等）世帯が公民館や公園等へ外出する場合に、ヘルパーが同行する外出支援を開始します。

予算 9,168万円

産後ケア事業の拡充

産後ケア事業について、多胎児（双子、三つ子等）2人目以降に係る利用料を無償化します。

予算 1億3,993万円

サポートを必要とする子どもたちのために

児童発達支援センターでの一時預かり

障がい児を育てる保護者の就労を支援するため、児童発達支援センターに通園する児童を対象に、療育終了後の15時から18時までの間、児童発達支援センターで一時預かりを実施します。

予算 7,467万円

身近な地域での療育の場の充実

未就学の障がい児の身近な療育の場として、児童発達支援事業所の本格的な増設に取り組み、令和6年度は新たに8事業所整備します。

予算 4億5,407万円

医療的ケア児の支援

医療的ケア児とその家族を支援するため、自宅等で訪問看護を利用する場合の費用等を助成するとともに、市立の児童発達支援センターに通う医療的ケア児の送迎をモデル的に実施します。

予算 6,749万円

障がい児等の保育支援の充実

障がい児など特別な支援を必要とする子どもの保育に係る、保育士雇用費用の助成を拡充し、対象児童をより細やかに支援できる体制づくりを進めます。

予算 12億683万円

教育支援センター（校外適応指導教室）の増設

市内に4か所ある教育支援センター（校外適応指導教室）を7か所に拡大し、各区に1か所ずつ設置します。

予算 1,227 万円

学びの多様化学校（不登校特例校）整備事業

令和7年4月の開校に向け、教育課程の検討や生徒募集を行うとともに施設の整備を実施します。

予算 9,464 万円

特別支援学校「城浜高等学園」の整備

障がいのある生徒の将来の自立を促すため、就労支援に特化した特別支援学校「城浜高等学園」の令和7年4月開校に向けた建設工事等を実施します。

予算 2億7,244 万円

自閉症・情緒障がい特別支援学級の整備

対象となる児童生徒数の増加等に伴い、自閉症・情緒障がい特別支援学級の増級をさらに加速します。

予算 3億1,668 万円

多様な支援スタッフの配置充実

教員が子どもと向き合う環境づくりのため、部活動指導員やスクール・サポート・スタッフなど多様な支援スタッフの配置を充実させます。

予算 17億4,385 万円

学校水泳指導における民間プール等の活用モデル事業

民間委託による水泳指導の充実、教員の負担軽減、学校プール維持管理費削減等の効果検証を行います。

予算 1,888 万円

全国高校総体「バスケットボール競技大会」の開催

全国高等学校総合体育大会（インターハイ）バスケットボール競技大会（8月3日～8月9日）を市内3会場で開催します。



駆け上がれ夢の舞台へ
燃え上がれ若人の魂

予算 3,876 万円

2 見守り、支え合う、共創の地域づくり



住みなれた地域で誰もが安心して暮らしていくことができるよう、見守り、支え合う持続可能な仕組みづくりに取り組むとともに、地域の絆づくりや新たな担い手づくりをはじめ、さまざまな主体が共に地域の未来を創り出す取組みを推進します。また、それぞれのライフステージに応じた健康づくりや生活習慣の改善の支援に取り組み、社会全体で健康寿命の延伸を推進し、誰もが健康で生きがいを持ちながら地域社会で活躍できる生涯現役社会の実現を目指します。

地域ポイント事業「ふくおかポイント」

地域活動への参加などに対する感謝の気持ちとして、スマートフォンのアプリを通じてポイントを付与し、地域活動などの支援につなげる仕組みの実証を行います。令和6年度は、市内9つのモデル校区にて実証を行い、課題の抽出や改善に取り組みます。

予算 6,665 万円

「福岡100」の推進

福岡100
何歳でも
チャレンジできる
未来のまちへ

「福岡100」は、人生100年時代に向けて、誰もが心身ともに健康で自分らしく活躍できる持続可能なまちを目指すプロジェクトです。市民の皆さんはもちろんのこと、企業や大学などの

知恵や工夫を取り入れ、「オール福岡」で推進します。

ユマニチュード®によるみんなにやさしいまち

認知症コミュニケーション・ケア技法「ユマニチュード®」の認知度のさらなる向上を目指し、様々な媒体を活用した広報を展開します。また、全小中学校や各校区等での講座を実施するとともに、日本ユマニチュード学会・福岡総会を共催するなど、市独自の取組みを国内外へ発信します。

予算 7,770 万円

認知症フレンドリーシティの推進

新たに認知症フレンドリーセンターに若年性認知症コーディネーターを配置し、若年性認知症の方へのサポートを強化します。

予算 1億1,945 万円

介護予防・フレイル予防の取組み

加齢等により心身の機能が低下する「フレイル」を予防するため、高齢者や幅広い世代を通じた啓発、ハイリスク者の把握・支援、通いの場等への専門職の派遣を行います。

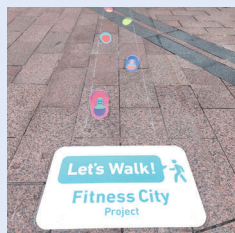
予算 1億1,667 万円

オーラルケア 28（にいはち）プロジェクト

永久歯 28 本を生涯健康に保つことを目指し、乳幼児期から高齢期までのライフステージの特性に応じ、予防に重点を置いた取組みを実施します。

予算 4,419 万円

Fitness City プロジェクト



公園や道路、駅などの身近な環境を活用して、楽しみながら自然に体を動かしたくなる仕組みや仕掛けがあるまちづくりに取り組みます。

予算 1 億 6,503 万円

高齢者乗車券の利便性向上

タクシー助成券について、より使いやすくなるよう、令和 6 年 10 月から、1 乗車につき最大 2 枚（1,000 円分）まで利用できるようになります。

予算 20 億 2,934 万円

老人福祉センターの機能強化

「人生 100 年時代における『高齢者の社会参加の拠点』」と位置づけ、高齢期の社会参加、元気な活躍を応援する拠点として、施設のリニューアルに着手するとともに、新たな取組みを試行し、機能強化を図ります。

予算 2 億 3,632 万円

分身ロボットを活用した重度障がい者等の就労支援

外出困難な重度障がい者等が、分身ロボットを遠隔操作し、自宅に居ながら、高齢者施設での業務のほか、新たに開拓する活躍先での就労にチャレンジする実践事業を行います。

予算 1,488 万円

障がい者の工賃向上に向けた一体的な支援

企業への業務開拓や障がい者施設への受注支援などを一体的に行うセンターを通して、障がい者の工賃向上を支援します。

予算 4,823 万円

強度行動障がい者への支援

強度行動障がい者の支援拠点施設「か～む」での集中支援のほか、地域のグループホームなど「か～む」からの受け入れ先へ、継続した支援や改修費用等の助成を行います。

予算 8,140 万円

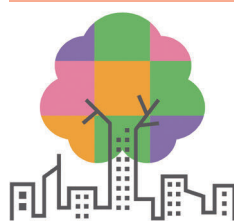
一人一花運動



花・みどり活動の拠点機能強化として植物園リニューアルに着手するなど、まちに彩りと潤いを与え、人のつながりや心の豊かさを生み出す「一人一花運動」の輪を広げ、花による共創のまちづくりを進めます。

予算 5 億 9,289 万円

都心の森 1 万本プロジェクト



都心の森 1 万本

良好な都市景観の形成や都市環境の改善を図るため、市民や企業との共働により、都心部をはじめとして全市域における植樹運動を展開し、緑豊かなまちづくりの推進に取り組みます。

予算 1 億 1,300 万円

在住外国人の生活環境整備事業

転入手続き時の生活ガイダンスの実施や、区役所等における多言語対応の充実のほか、地域における日本語教育の推進を図るとともに、外国人住民との交流を支援し、相互理解を促進します。

予算 5,115 万円

3 都市活力を生み出す観光・MICE、都心部機能強化の推進



交流人口の増加に向けた取組みを進めるとともに、九州のゲートウェイ都市として多くの観光客等に訪れていただけるよう受入環境の充実を図るなど、都市活力を生み出す観光・MICE を振興します。また、規制緩和による誘導や支援により、民間活力を引き出しながら、都心部の機能や魅力の向上、拠点間のアクセス性や回遊性の強化に取り組むなど、国際競争力のある都市づくりを進めます。

広域連携誘客事業



新たな JAPAN を開拓せよ。

欧米豪からの誘客や付加価値の高い旅行を推進するため、西日本・九州の自治体等と連携した、西のゴールデンルートの実施します。

予算 8,857 万円

海辺を活かした観光振興事業 Fukuoka East&West Coast



海辺の観光周遊コースの形成に向けて、市営渡船と連携した集客促進や、レンタサイクルの導入促進、北崎地区における立ち寄りスポットの整備等に取り組みます。

予算 9 億 4,177 万円

博多旧市街プロジェクト



博多旧市街エリアにおいて、歴史・伝統文化に配慮した趣のある道路整備を行うとともに、博多旧市街フェスティバルの開催や観光拠点の検討に取り組みます。

予算 2 億 9,091 万円

福岡城・鴻臚館における観光振興事業



観光客や市民の、福岡城や福岡の歴史に対する興味・関心を高めるとともに、観光集客を図るため、福岡城「幻の天守閣」ライトアップや夜間の来訪者を誘導する園路照明等の設置に取り組みます。

予算 9,776 万円

天神ビッグバン

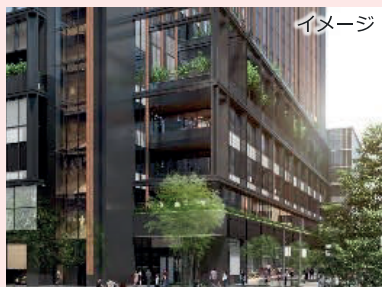
天神未来創造



航空法高さ制限の特例承認や市独自の規制緩和などにより、耐震性の高い先進的なビルへの建替えを誘導するとともに、水辺や緑、文化芸術、歴史などが持つ魅力にさらに磨きをかけ、多様な個性や豊かさを感じられる、多くの市民や企業から選ばれるまちづくりに取り組みます。



① ONE FUKUOKA BLDG.



② 天神BC2期計画



博多コネクティッド



交通基盤の拡充とあわせ、規制緩和などによって耐震性が高い先進的なビルへの建替えを誘導し、駅周辺地区との回遊性の向上や、多様な個性や豊かさを感じられるまちづくりに取り組むことで、博多駅の活力と賑わいを周辺につなげていきます。



① 西日本シティ銀行本店本館



② コネクトスクエア博多 (令和6年3月竣工)



都心の水辺の憩いと回遊拠点づくり



Park-PFI 制度を活用した清流公園の整備や、那珂川沿いの護岸のライトアップなど、魅力的な水

辺空間の創出に取り組みます。



エリア図



清流公園の整備イメージ

予算 6億1,218万円

九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくり



地域と共に創り上げたグランドデザインの実現に向け、先進的なまちづくり「Fukuoka Smart East」に取り組むとともに、土地利用事業者公募により決定した優先交渉権者や地域等の関係者との協議・調整、土地区画整理事業等の基盤整備などに取り組みます。

予算 33億6,811万円

【優先交渉権者の提案概要】

- 多様なスマートサービス（安全、健康、移動、防災、エネルギー・環境、水素利活用 など）
- 6つの都市機能（交流・にぎわい、業務・研究、医療・福祉、教育 など）
- ゆとりある都市空間（緑豊かな歩行者ネットワークや広場空間 など）
- まちの魅力を向上させる継続的なまちづくりマネジメント



＜九州大学・UR都市機構 公表資料抜粋＞

まちづくりへの水素実装

九州大学箱崎キャンパス跡地における水素供給パイプラインの整備や水素ステーションの検討等に取り組みます。

予算 2億5,826万円



新しい価値の創造にチャレンジする スタートアップ都市づくり



多様なアイデアの事業化とその成長は、多くの雇用と新たな価値を創り出し、福岡市を支店経済から脱却させるとともに、新しい商品やサービスを生み出し、市民生活を豊かにします。国家戦略特区を推進エンジンとして、福岡市の活力をさらに高めるスタートアップ都市づくりに取り組みます。

スタートアップ支援施設運営事業

スタートアップ企業の更なる成長を促進するため、スタートアップ支援施設「Fukuoka Growth Next」とスタートアップカフェの運営を一体化し、創業から成長まで一気通貫で支援します。



予算 4億4,529万円

IPO（新規上場）等に向けた成長支援プログラム

新規上場を目指すスタートアップ企業の経営に関する現状分析・課題抽出を行い、成長に向けた経営課題の解決を支援します。

予算 2,840万円

グローバルスタートアップ推進事業

海外スタートアップ拠点との連携を活かしたビジネスマッチング支援や、国際イベントの開催などにより、グローバルに活躍できる創業の環境づくりの推進とビジネス具体化の支援を行います。

予算 1億3,407万円

ふるさと納税を活用したソーシャルスタートアップ成長支援

ふるさと納税を活用し、思いをもって地域や社会の課題解決を目指すソーシャルスタートアップの経営基盤強化にかかる取組みを支援します。

予算 3,143万円

若年層（小中学生）の起業家マインド向上事業

次世代の起業家育成を目指して、小中学生を対象としたオープンイノベーションや起業家を体験する講座を実施し、起業をより身近に感じる機会を作ります。

予算 1,956 万円

水素リーダー都市プロジェクト

水素ステーションの運営等



官民連携で運営する下水バイオガス由来の水素ステーションの営業日を、週4日から週6日に拡大します。

予算 8,559 万円

FC モビリティの導入促進

Moving e（発電・給電が可能な水素バス）やFC（燃料電池）給食配送車を活用した水素の普及啓発のほか、FCごみ収集車の追加導入やFC救急車の実証等に取り組みます。



予算 1 億 5,157 万円

外資系金融機関等の拠点設立推進

国際金融都市の実現に向けて外資系金融機関等の拠点設立へ向けた都市ポテンシャル等のPRや設立サポートを実施します。

予算 5,372 万円

Fukuoka Art Next

アートのまちづくりの推進

FaN

Fukuoka Art Next

まちなかをアートで彩るアートイベント「FaN Week」などを開催するとともに、アーティストの創作活動や様々な交流活動を支援することで、福岡から世界に羽ばたく人材の育成を目指します。

予算 2 億 810 万円

子どもたちがアートを体験する機会の創出

小学校への貸切バス代等の助成により美術館等での対話型アート鑑賞体験を推進するほか、絵画分野のアーティストを小学校へ派遣し、アートのワークショップを実施します。

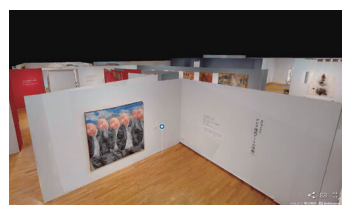
予算 3,370 万円

バーチャルミュージアムの構築

作品鑑賞機会の拡大を図るため、アジア美術館のコレクション展示を3Dカメラで撮影し、展示空間をインターネット上で体験できる仕組みを構築します。



バーチャルミュージアムイメージ



予算 868 万円

福岡アジア美術館の魅力向上

世界で唯一、アジアの近現代美術を系統的に収集・展示するアジア美術館の機能強化に向けて、警固公園の地下を有力候補として、施設拡充の調査・検討を行います。

予算 7,052 万円

「福岡市民ホール」の整備



FUKUOKA CIVIC HALL
福岡市民ホール

市民会館を継承しながら、本市における文化振興の拠点となる新たな施設を整備するとともに、須崎公園の魅力高め、水辺に開かれた公園を目指し再整備に取り組みます。（令和7年3月に開館予定）



予算 21 億 3,185 万円

「生活の質の向上」と「都市の成長」の好循環

福岡市では、多くの市民の皆様とともに策定した「福岡市総合計画」において、「生活の質の向上」と「都市の成長」の好循環を創り出すことを都市経営の基本戦略として掲げています。

福岡市の「住みやすさ」に磨きをかけて市民生活の質を高め、質の高い生活が人と経済活動と呼び込み、都市の成長を実現させ、都市の活力によりさらに生活の質が高まるという好循環を創っていきます。

新たな「福岡市基本計画」の策定

福岡市を次世代に引き継ぎ、さらに魅力的なまちにしていくため、市の将来の方向性を定める第10次基本計画の策定に向けて、総合計画審議会の開催やパブリックコメントなどに取り組みます。

予算 3,394 万円

生活の質の向上

1 一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝くまちづくり



★1 ユニバーサルデザインの理念によるまちづくり

ユニバーサル都市・福岡の推進



ユニバーサル都市・福岡の実現をめざし、市民や企業等の自発的な行動につながるよう、ユニバーサルデザインの普及・啓発に取り組みます。

予算 989 万円

公共交通バリアフリー化の促進

ユニバーサルデザインの理念に基づき、誰もが使いやすい安全、安心、快適な交通環境づくりを目的として、公共交通のバリアフリー化に取り組みます。



予算 3,071 万円

インクルーシブな子ども広場整備

「ユニバーサル都市・福岡」の実現を目指し、誰もがお互いを理解し、安心して笑顔で、自分らしく遊ぶことができるインクルーシブな子ども広場の整備を進めます。



百道中央公園整備状況

予算 9億5,494 万円

★2 すべての人の人権が尊重されるまちづくり

人権啓発フェスティバル（ハートフルフェスタ）の開催

市民一人ひとりが人権問題を自分自身の問題としてとらえ、日常的な人権感覚が身につけられるよう、人権関係団体との連携を図りながら、人権に関する講演会やイベントなどを開催します。

予算 900 万円

性的マイノリティ支援事業

パートナーシップ宣誓制度の推進や交流事業の実施など当事者等への支援を行うとともに、講演会やふくおかLGBTQフレンドリー企業登録制度の推進など啓発に取り組みます。

予算 637 万円

★3 スポーツ・レクリエーションの振興

福岡マラソン開催

第11回目となる福岡マラソンを開催します。「人をつなぐ。まちをつなぐ。未来へつなぐ。」を大会テーマに、1万2千人のランナーが福岡から糸島へ駆け抜けます。



予算 1億3,734万円

新たな運動公園の整備（早良区南部）

早良区南部地域において、ソフトボール等に利用できる多目的グラウンドを有する運動公園の整備に向けて取り組みます。

予算 2,258万円

★4 すべての人が安心して暮らせる福祉の充実

介護人材確保に向けたDXの推進・経営力の強化



ICTツールのモデル導入等による介護サービスのDXを推進するとともに、介護施設等にコンサルタントを派遣し、経営のサポート等を行います。

予算 6,054万円

2 さまざまな支えあいとつながりのあるまちづくり



★5 公民館などを活用した活動の場づくり

（仮称）照葉はばたき公民館の新築

照葉はばたき小学校区新設に伴い、市産材を活用した木造の公民館を整備します。

予算 3億5,634万円

南区における地域交流センターの検討

南区における地域交流センター整備に向け、基本構想の検討を進めます。

予算 561万円

3 安全・安心で良好な生活環境のまちづくり



★6 災害に強いまちづくり

防災アプリ「ツナガル+（プラス）」の機能強化と利用促進



より迅速な被災者支援を行うため、防災アプリ「ツナガル+（プラス）」の機能強化を図るとともに、キャンペーンや操作体験等を通じたアプリの利用促進を実施します。

予算 3,605万円

無電柱化の推進

災害時の電柱倒壊による通行の妨げを抑止するとともに、空が見える美しい街並みの形成や、歩きやすい道路空間の確保を実現するため、電線類を地中に埋める「無電柱化」を進めます。



整備前



整備後

予算 18億2,352万円

公的備蓄の拡充

避難所の衛生的な生活環境を確保するため、自動圧着で排泄物を密封できる簡易トイレや水のいらないシャンプー・ボディソープなど、災害時に必要となる市の備蓄を拡充し、各校区に分散配備します。

予算 6,636万円

防災備蓄倉庫等の整備（旧東市民センターの活用）

旧東市民センターの一部を活用し、災害時の物資集積スペース及び防災備蓄倉庫を整備します。（令和7年度中に整備完了予定）

予算 1億4,813万円

アイランドシティに消防出張所の新設

アイランドシティ及び周辺地域における消防・救急需要に的確に対応するため、新たに消防出張所を整備します。

予算 2億9,353万円

消防学校の機能強化

消防職員、消防団員の災害対応能力向上を図るため、消防学校機能強化に向けた設計等に着手します。

予算 1億2,187万円

救急隊の増隊



救急需要の増加に的確に対応するため、城南消防署に救急隊を増隊します。

予算 6,803万円

応急給水体制の強化



応急給水活動に重要な役割を果たす給水車を2台追加配備し、応急給水体制を強化します。

予算 5,000万円

民間建築物の耐震化促進

災害に強いまちづくりを推進するため、福岡市耐震改修促進計画に基づき、建築物の耐震化を促進します。

予算 1億8,616万円

公共インフラの耐震化推進

災害時においてもライフライン機能が維持できるよう、老朽化した水道管の更新や耐震化を推進するとともに、災害時の交通の確保や利用者の安全を確保するため、橋梁の耐震化を推進します。

予算 96億5,958万円

災害時保健医療体制（DHEAT派遣）の構築

災害時健康危機管理支援チーム（DHEAT）の派遣体制の整備を含め、災害時に対応できる保健医療体制の構築に取り組みます。

予算 322万円

7 安全で快適な生活基盤の整備

道路バリアフリー化の推進



すべての人が安全で快適に移動できるよう、ユニバーサルデザインに基づいた道路のバリアフリー化などを進めます。

予算 19億4,332万円

交通安全対策の推進

誰もが安心して歩ける歩行空間を確保するため、通学路等の交通安全対策を進めるとともに、車両走行情報のビッグデータを活用して設置するハンプ等と車両の速度規制を組み合わせたゾーン30プラスの推進や交差点等の交通安全対策を進めます。

通学路の交通安全対策（堅柏西新線）



歩行空間の確保（塩原20号線）



交差点の交通安全対策（千代今宿線）



ゾーン30プラスの推進（板付・麦野地区）



予算 25億691万円

8 良質な住宅・住環境の形成

市営住宅の整備（機能更新におけるユニバーサルデザインの導入等）



市営住宅の建替えの際に1階は全て車いす利用者向け住宅として整備するなど、全ての人が利用しやすいユニバーサルデザインを基本仕様とした居住環境の確保に取り組みます。

予算 144億2,382万円

空き家の活用促進（改修費等の補助、空き家の実態調査）

空き家を地域貢献施設として活用する場合や、子育て世帯が市街化調整区域内の空き家に移住する場合に改修費等を助成します。また、空き家の管理状況等の調査を行うなど、流通促進や有効活用に取り組みます。

予算 1,550万円

9 ルールが守られ、人にやさしい安全なまちづくり

飼い主のいない猫等の不妊去勢手術の推進

動物愛護管理センターの猫の収容及び殺処分の削減を図るため、野良猫及び多頭飼育の猫の不妊去勢手術支援を試行的に実施します。

予算 1,135万円

路上喫煙対策の強化

外国人観光客をはじめとした人流の活発化を踏まえ、来訪者にも分かりやすい路上禁煙地区の標示の整備や、路上喫煙防止にかかるより効果的な広報啓発を実施します。

予算 2,334 万円

10 犯罪のない安全で住みよいまちづくり

街頭防犯カメラ設置補助事業

防犯に配慮したまちづくりに向け、自治協議会、町内会等を対象に、街頭防犯カメラの設置費用に対する補助を行います。

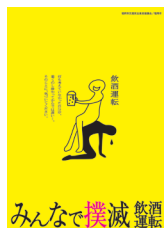
予算 6,477 万円

地下鉄車両へのリアルタイム防犯カメラの設置

車内犯罪の未然防止等のため、リアルタイム防犯カメラを計画的に設置し、令和9年度までに交通局所有の全車両に導入する予定です。

予算 3,997 万円

飲酒運転撲滅対策事業



飲酒運転の撲滅（ゼロ）に向け、地域や事業者が行う飲酒運転撲滅の取組みを促進するとともに、市民や事業者等と連携した飲酒運転撲滅キャンペーンを展開します。

予算 225 万円

11 安全で良質な水の安定供給

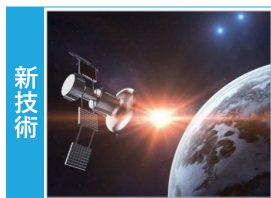
水道管の漏水防止調査

水の有効利用のため、従来手法とAIや人工衛星画像等の新技術を掛け合わせ、効率的・効果的な漏水防止システムを構築し、世界トップの「低い漏水率」を維持していきます。



従来手法

×



新技術

予算 2 億 3,337 万円

12 日常生活の安全・安心の確保

熱中症対策の推進

暑さ指数の予測情報に基づく熱中症特別警戒アラートの発信等の注意喚起を行うとともに、クーリングシェルの指定や様々な機会を捉えた予防行動の啓発等を実施します。

予算 2,476 万円

健康危機管理対策の強化

健康危機管理体制の強化を図るため、福岡市保健所を設置するとともに、福岡市感染症予防計画等に基づく研修・訓練の実施による人材育成や防疫用備品の整備などの取組みを進めます。

予算 1,609 万円

4 人と地球にやさしい、持続可能な都市づくり



13 地球温暖化対策の推進と自律分散型エネルギー社会の構築

脱炭素型ライフスタイルへの行動変容に向けた支援

脱炭素型ライフスタイルへの転換を図るため、住宅用エネルギーシステムの導入支援やE C Oチャレンジ応援事業、住宅の太陽光発電ポテンシャルの見える化、行動変容アプリの提供等を実施します。

予算 3 億 5,362 万円

次世代自動車の普及に向けた支援

ガソリン車から電気自動車等への移行を推進するため、車両の購入費用の一部を補助するとともに、充電設備の設置を拡充するなど利用環境整備に取り組みます。

予算 1 億 5,607 万円

事業所における脱炭素化の支援

事業所の脱炭素化を推進するため、太陽光発電設備や省エネ設備の導入費用、ビルのZ E B化に係る設計費用、温室効果ガス排出削減を目的とした融資に係る経費の一部を補助します。

予算 1 億 3,767 万円

14 循環型社会システムの構築

プラスチックごみ対策の取組み

プラスチック分別収集導入に向け、戸別収集及び拠点回収のモデル事業を実施するほか、可燃用指定袋に新たに10ℓサイズを試行導入するとともに、レジ袋の代わりに指定袋をばら売りする取組みを試行実施します。

予算 7,965 万円

食品廃棄ゼロエリア創出モデル事業

モデル小学校において、給食の食べ残しを減らす取組みや調理くず等の堆肥化、メタン化施設での資源化に取り組み、効果や拡大に向けた課題の検証を実施します。

予算 381 万円

15 生物多様性の保全と みどりの創出

生物多様性の推進

生物多様性の損失を止め回復させる「ネイチャーポジティブ（自然再興）」の実現に向け、市民、事業者など多様な主体からなる協議会の設置や行動変容を促す啓発等を行います。

予算 3,711 万円

16 まちと自然が調和した福岡型の コンパクトな都市づくり

跡地のまちづくり

まちづくりの観点から検討が必要な冷泉小学校などの跡地について、地域や福岡市の魅力向上につながる跡地活用の実現に向けて取り組みます。

予算 1,082 万円

17 公共交通を主軸とした 総合交通体系の構築

福岡市地下鉄の車両更新・増備

空港線・箱崎線車両の更新及び七隈線の混雑緩和に向けた増備車両の発注を行います。

予算 41 億 6,444 万円

生活交通の支援

バス路線の休廃止に伴う公共交通空白地への代替交通を確保するとともに、持続可能な仕組みづくりに向け、オンデマンド交通の社会実験に引き続き取り組みます。

予算 1 億 2,443 万円

18 ストックの活用による地区の 価値や魅力の向上

Park-PFI 制度による公園の活用推進

公園の性格や立地特性に応じて Park-PFI 制度を活用し、花や緑で彩られた居心地の良い空間や、賑わいと憩いの場の創出など、魅力あふれる公園づくりに取り組みます。

予算 2,591 万円

都市の成長

5 まちの魅力を磨き、さまざまな 人をひきつけられるまちづくり



19 観光資源となる魅力の再発見と 磨き上げ

博物館リニューアル推進事業

幅広い観光客をターゲットとした文化観光の拠点や文化を次世代へ継承する拠点等としての機能向上を目指し、リニューアルに向けた取組みを進めるとともに、収蔵庫棟の増築工事に着手します。

予算 15 億 4,801 万円

6 経済活動が活発で、たくさんの 働く場が生まれるまちづくり



20 産学官連携による、知識創造型 産業の振興

九大新町における研究開発拠点の形成

「産学連携交流センター」及び「いとLab+」を中心として、九州大学等と連携した研究開発拠点の機能強化を図り、大学の研究シーズを活用した事業化の支援に取り組みなど、新産業・新事業の創出を図ります。



予算 1 億 4,847 万円



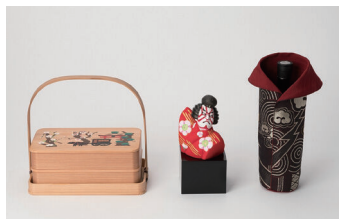
地域経済を支える地場中小企業 などの競争力強化

福岡発カーボンゼロ商品創出支援

カーボンゼロ商品創出に向けたアイデアソンの開催や、商品・サービス開発のための専門家派遣等を実施します。

予算 900 万円

伝統産業によるインバウンド観光消費拡大事業



ホテル・レストランなどでの伝統工芸品の利用促進等を通して、インバウンドを含めた販路拡大を支援します。

予算 1,628 万円

商店街の振興

新たな賑わい創出のため、観光施設等との連携や魅力向上につながる取組みを支援します。また、商店街プレミアム付商品券の発行や、人材育成と課題解決に向けたチャレンジを支援します。

予算 1 億 5,610 万円



農林水産業とその関連ビジネス の振興

スマート農業チャレンジ農園

市内農家のニーズにあった新技術の開発にチャレンジする事業者の実証実験等を支援します。

予算 861 万円

次代へつなぐ地産地消推進事業

子ども達の記憶に残る市内産農水産物を、学校給食に提供することにより、地元食材に対する理解や愛着を深め、将来にわたって持続可能な地産地消を推進します。

予算 1 億 1,063 万円

市内産農産物消費拡大の推進

市内産農産物の消費拡大に向け、シェフ・バイヤー向け生産地ビジネスツアー・商談会、農産物の商品開発、販売促進などによるブランド創出、国内外の販路拡大の支援を実施します。

予算 1,886 万円

有機農業推進事業

農業者が有機農業にチャレンジしていくための環境整備として、研修会や先進事例調査などを行うとともに、市民・事業者の理解促進に向け、有機農産物の PR 活動などを実施します。

予算 465 万円

水産業ブランド推進事業

福岡市水産物のブランド化を推進するため、シェフやバイヤーとの商談、国内外への PR、販路拡大の支援、販売先の市場調査に取り組みます。

予算 1,927 万円

海業推進事業

漁村地域の活性化を図るため、漁港ごとの活用推進計画を策定し、漁港内の遊休地等の活用や民間活力の導入に取り組みます。

予算 2,334 万円

花粉発生源対策関連事業

スギ・ヒノキ人工林を 10 年間で 2 割削減することを目指して伐採を加速するとともに、伐採した地域産材の利用拡大などの取組を実施します。

予算 2 億 4,158 万円

イノシシ被害対策事業

猟友会・民間事業者による集中捕獲を実施するとともにイノシシの生息調査を行います。また、農業者等が行う侵入防止柵強化や生息環境管理の取組みを支援し被害防止を図ります。

予算 5,234 万円

漁場環境の保全

豊かな海にするために、漁場の状況を把握し、漁業者と連携しながら藻場の再生・拡大、海底耕うん、海底ごみ回収など、漁場環境の保全に取り組みます。

予算 4,304 万円

防災重点農業用ため池対策事業

防災重点農業用ため池に指定されたため池について、緊急時の迅速な避難行動につながる対策や、施設機能の適切な維持、補強に向けた対策を進めます。

予算 3 億 890 万円



就労支援の充実

就労相談窓口事業、ミドル世代就職支援事業

各区の就労相談窓口で、寄り添い型の個別相談や職業紹介などを行い、求職者の就労を支援します。あわせて、ミドル世代専用の相談窓口を設けるなど、きめ細かに支援します。

予算 5,498 万円

7

創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出すまちづくり



24

新たな価値を生み出す創造産業の振興 (個人の才能が成長を生む創造産業の振興)

クリエイティブ・エンターテインメント都市づくり推進事業

クリエイティブ・フェスタ「The Creators」の開催等、国内外に向けたブランド化を図るとともに、クリエイティブ関連産業の集積を目指します。

予算 8,764 万円

8

国際競争力を有し、アジアのモデル都市となるまちづくり



25

高度な都市機能が集積した活力創造拠点づくり

アイランドシティ整備推進

アイランドシティにおいて、先進的モデル都市づくりや国際物流拠点の形成に取り組みます。

予算 62 億 4,519 万円

26

成長を牽引する物流・人流のゲートウェイづくり

博多港の機能強化

国際海上コンテナ取扱個数の増加に対応するため、さらなる物流の効率化を図るとともに、コンテナターミナルの機能強化に取り組みます。

予算 22 億 386 万円

博多港脱炭素化推進事業(カーボンニュートラルポート形成推進)

博多港におけるカーボンニュートラルポート形成に向けた取組みを官民で連携して推進します。

予算 4 億 2,934 万円

福岡空港の滑走路増設

福岡空港の機能強化を図るため、国において、新たな滑走路の増設が進められており、令和6年度末の供用開始に向けて、この整備を県とともに推進します。

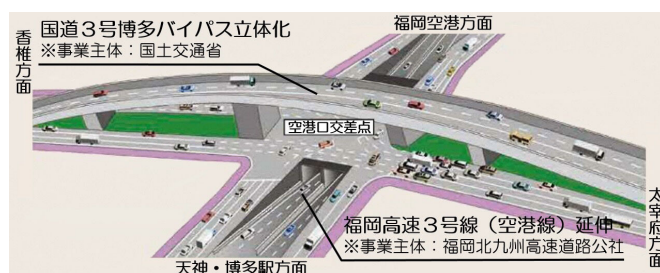
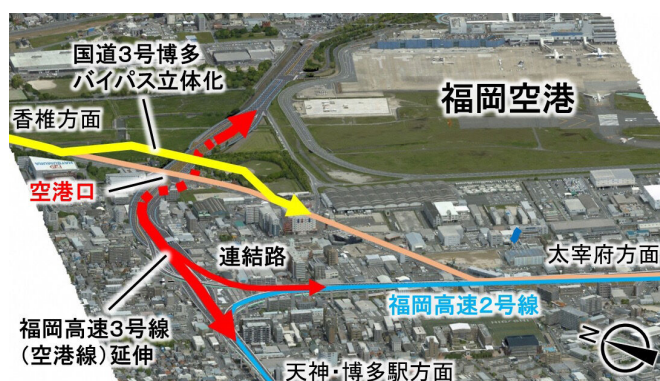


福岡空港の機能強化の概要

予算 9 億 3,585 万円

福岡高速3号線(空港線)延伸事業

福岡市南部地域や太宰府方面から福岡空港国内線旅客ターミナルへのアクセス強化等を図るため、福岡高速3号線延伸事業を推進します。(事業主体：福岡北九州高速道路公社)



予算 11 億 3,000 万円

認知症コミュニケーション・ケア技法

ユマニチュード[®]

「ユマニチュード」とは、認知症の人に優しさを伝えるコミュニケーションの技術です。

見る



見ることで相手に
伝わるメッセージがあります。

話す



ゆっくりとした穏やかな言葉は
相手に安心を届けます。

触れる



触れるときは相手の手を下から
支えることで優しさを伝えます。

立つ



1日合計で20分立つ時間を作れば、
寝たきりを予防できます。

(イラスト提供)日本ユマニチュード学会

福岡市は、認知症の人が認知症とともに、住み慣れた地域で安心して
自分らしく暮らせるまち「認知症フレンドリーシティ」を目指し、
ユマニチュードの講座を対象別に行っています。

詳細はこちら▶



ユマニチュードに関するお問い合わせ先
福岡市 福祉局 ユマニチュード推進部 ユマニチュード推進課
TEL : 092-707-3117 FAX : 092-733-5587